

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公開番号】特開 2005-217152 (P2005-217152A)

【公開日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報 2005-031

【出願番号】特願 2004-21476 (P2004-21476)

【国際特許分類】

H 0 1 L 29/739 (2006.01)

H 0 1 L 29/78 (2006.01)

H 0 1 L 29/06 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 29/78 6 5 5 F

H 0 1 L 29/78 6 5 2 P

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 26 日 (2006.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5】

請求項 1 2 または請求項 1 3 に記載の半導体装置であって、

前記多段の逆接続ダイオードにおいて、前記幅方向に突出した部分の形状は、平面視で扇形である

ことを特徴とする半導体装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 2】

図 2 9 は、逆接続ダイオード 3 1 の幅が広い部分の、当該幅の方向に突出した部分の形状の例を示す図である。逆接続ダイオード 3 1 の幅の方向に突出した部分の形状は、ガードリング 3 0 a とガードリング 3 0 b の間の領域の形状に合わせて、図 2 9 (a) のようにテーパ状にするとよい。あるいは、図 2 9 (b) のようにガードリング 3 0 a の形状に合わせた扇形にしてもよい。図 2 9 (a)、図 2 9 (b) いずれの場合も、各ダイオードが平面視で前記ガードリングと略平行に配置されるので、フィールドプレートとして適切な電位分布が得られる。